

関係各位

財団法人食の安全・安心財団

理事長 田沼 千秋

第 3 回食の安全・安心財団意見交換会開催のご案内

放射能汚染と食のリスク 現状と対策

東日本大震災の被災地の皆様、被害者の方々には、心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故の見通しは依然として不透明な状態が続いております。農産物をめぐっては暫定規制値が発表され、科学的根拠に基づく理解と行動が求められる一方で、買い控えがみられるなど消費者の不安等は未だ払拭されない状況があります。復旧に向けた取り組みは長期化することが予想され、徒な不安を持ち続けることも、経済復興の大きな足かせになることはメディアでも取り上げられるようになってきました。

この度、「財団法人食の安全安心財団」では、行政、放射能専門家、科学ライターをお招きし、放射能汚染と食のリスクについてのご講演・質疑応答を行う意見交換会を開催することとなりました。特に、行政からは、経済産業省原子力安全・保安院、厚生労働省食品安全部監視安全課、農林水産省消費安全局消費・安全政策課から、下記の内容に従って、現在実施されている国の取り組みと現状についてご説明を頂きます。

ご多用中のところとは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

1. 日時 平成 23 年 6 月 27 日 (月) 14:00～16:30

2. 会場 ベルサール汐留 2F イベントホールA

東京都中央区銀座 8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル

3. 内容

【Ⅰ】報告 ① 大谷 壮史 氏 (経済産業省 原子力安全・保安院 課長補佐)
「農産物における放射線モニタリング及び出荷制限等の仕組みと現状」

② 佐々木 康人 氏 (㈱日本アイソトープ協会 常務理事)
「放射能と健康影響 ～放射線とのつきあい方～」

《講師紹介》東京大学医学部教授(放射線医学講座)、独立行政法人放射線医学総合研究所理事長を経て現職。

③ 松永 和紀 氏 (科学ライター)
「食と放射能 ～リスクコミュニケーションの課題と提案～」

《講師紹介》『植物で未来をつくる』、『食の安全と環境－「気分のエコ」にはだまされない』など科学的視点からの食料・農業・環境分野での著書多数。

【Ⅱ】質疑 及び 意見交換

【コーディネーター】 唐木 英明 氏 (東京大学名誉教授・日本学術会議副会長・元東京大学アイソトープ 総合センター長)

【パネラー】 大谷 壮史 氏 (経済産業省 原子力安全・保安院 課長補佐)

佐々木 康人 氏 (㈱日本アイソトープ協会 常務理事)

松永 和紀 氏 (科学ライター)

他に、厚生労働省食品安全部監視安全課、農水省消費安全局消費・安全政策課からご出席頂き、質疑応答に参加される予定です。

4. 参加申込方法: 別紙申込用紙を FAX またはメール (info-anan2010@anan-zaidan.or.jp) でお申込み下さい。

5. 連絡先 財団法人食の安全・安心財団 担当: 松崎、森川、中井 TEL 03-5403-1064

(財) 食の安全・安心財団 事務局 宛

第3回 食の安全・安心財団意見交換会
放射能汚染と食のリスク 現状と対策

参加申込書

参加者お名前	ご所属または貴社名・お役職名

★ご連絡先 (消費者の方は、ご所属の団体名があれば、その団体名をご記入ください)

※恐れ入りますが、複数のお申込みの場合は下記にご担当の方のご記入をお願い致します。

個人でお申込みの場合は差しつかえなければ、TEL・FAX・メールアドレスのみのご記入をお願いいたします。

ご担当者 _____ ご所属 _____ お役職名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

日時： 平成 23 年 6 月 27 日 (月) 14 : 00~16:30

会場： ベルサール汐留 2F イベントホールA

東京都中央区銀座 8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル

「汐留駅」より徒歩 5 分 (大江戸線・ゆりかもめ) / 「新橋駅」より徒歩 8 分 (JR 線・銀座線)

【会場案内図】

